

平成 25 年度 第 1 回 基礎水理部会 議事録

会場： 京都テルサ D 会議室

日時： 平成 25 年 9 月 5 日 12:00～

出席者（敬称略、名簿順）：大本，里深，泉，内田，鬼束，門田，神田，本村，山上，清水(康)，清水(義)，杉原，関根，高岡，高橋，高濱，田中，堤，富永，羽田野，原田，檜谷，藤田，本田，前野，山坂，横嶋，吉田，音田

資料-1 部会員名簿

資料-2 部会見学会資料

資料-3 河川砂防技術基準をベースとした河川技術の検討に関する学会との連携

報告事項

1. 部会員名簿（資料-1） 現在 29 名

部会員の確認が行われた

2. ワーキンググループの活動について

- (1) iRIC version2.0 講習会 in 東京

日時：2013 年 4 月 17 日 (水) 9:00～4 月 19 日 (金) 17:30

場所：土木学会講堂

- (2) 生態水工学に関係する自由集会（別紙資料）

日時：2013 年 9 月 19 日 (木) 16:00 ～18:00

場所：大阪府立大学 I-site なんば C2 会場

活動報告が行われた

3. その他

審議事項

1. 部会見学会の開催について（資料-2）

日程： 10 月 20 (日) ～ 22 (火)

場所： 愛媛県・肱川等の見学

10 月 20 日 宿に集合して部会開催

10 月 21 日 見学および懇親会

10 月 22 日 解散

今後の予定

・22 日の予定

・出席者の確定： 9 月中

修士・博士の学生の参加も可能。22 日は解散の予定。

9 月中に出席者の確定。宿の確保。

2. 基礎水理シンポジウム 2013 の開催について

日時： 12 月 2 日 (月)

場所： 土木学会講堂

講演テーマ： 移動床水理学が生態系保全に果たす役割

- ・河床変動と樹林化 (植生水理)
- ・粗度境界層と生態系 (付着藻類, 水生昆虫, 魚類他)
- ・洪水制御と生物環境 (水制, ワンド)
- ・河川感潮域の土砂動態と生物相

講演者： 京都大・竹門先生, 自然共生研究センター・萱場センター長,
埼玉大・田中先生, 名工大・富永先生,
自然共生研究センター・原田氏, 熊本大・大本先生

プログラム案：

09:00 ~ 09:05	挨拶
09:05 ~ 09:55	京都大・竹門先生
09:55 ~ 10:50	埼玉大・田中先生
10:50 ~ 11:00	休憩
11:00 ~ 11:55	名工大・富永先生
11:55 ~ 12:00	質疑・討議
12:00 ~ 13:00	昼休み
13:00 ~ 14:00	自然共生研・萱場センター長
14:00 ~ 15:00	自然共生研・原田氏
15:00 ~ 15:10	休憩
15:10 ~ 16:10	熊本大・大本先生
16:10 ~ 16:30	総合討議

今後の予定

- ・プログラム, 講演題目の仮決定 (9 月中)
- ・土木学会, コンサルタンツ協会への広報

プログラム案が承認された。決定次第, 広報する。

3. ワーキンググループ活動

- ・研究分科会について現状 (HP より抜粋)

河床変動に関する数値解析法の開発と評価 → iRic に結実

数理水理学の現状と展望

河川構造物等に作用する流体力と流れ → 実験・数値解析の包括研究

水理学における IT

→ 水工学に関する素材集

粘着性材料の侵食特性と流砂モデル

伝統的河川工法の技術評価

ワーキンググループ活動の整理が必要。

田中先生が始められたワーキンググループ活動を入れる必要があるため、グループ名を確認する（水理学の言葉を入れてほしい）。
みんなで同じテーマに取り組む活動はできないか。例えば、研究のレビュー等。

- ・水理学，水工学に関する素材集の作成について
実験，数値解析の動画等を集める。

4. その他

- ・河川砂防技術基準について（資料-3）
年度内にメンバーを決定し，その後2年間活動予定。河川WGに15名程度。
（基礎水理部会5名，河川部会5名，国総研5名）。
活動としては年6回意見交換を行う。
基礎水理シンポジウム，水工学講演会にて国総研の方に説明して頂く予定。自薦，他薦を問わず，参加者を募る。